

■正木ひろし 弁護士。戦前から時代の狂信を批判、戦後の諸事件でも、司法権力に挑戦する熱血で知られた。

まさきひろし

白馬会・・・1896＝ 東京本所で、下級官吏の次男に生まれる。

秀才肌の兄妹に対して強情の勉強嫌いで疎まれたが、

田中正造直訴1901＝ 5歳：肺結核で母が死去した後、小学校教員をしていた祖母が公平に育ててくれる。

日比谷公園・1903＝ 7歳：東京市立小学校に入学、

日露戦争終・1905＝ 9歳：

満鉄発足・・・1906＝10歳：継母が来たが、なじめず、結核性の体質であったが、周囲の自然に慰められる。

伊藤博文暗殺1909＝13歳：東京府立第三中学校に入学、直後に妬んだ小学校の同級生に殴られ、

以後、柔道・剣道を練習し、また、正義を重んじる校風に影響を受ける。

明治天皇没・1912＝16歳：

画家を夢見ていたが、祖母の忠告を受けて、

第一次大戦始1914＝18歳：第八高等学校に入学するも、

民本主義・・・1916＝20歳：退学、南国に憧れて、

ロシア革命・1917＝21歳：鹿児島県の第七高等学校に入学し直したが、重病に罹り、危うく一命を取り留める。

この間、九州組と外来組の生徒間で抗争があったが、日本の政策に反発して一時帰国した中国からの留学生ららが、出席日数不足で進級できなくなるのを救う運動したことで、逆に一体感が強くなった。

大暴落・・・1920＝24歳：卒業し、__東京帝国大学法学部に入学。

原敬首相暗殺1921＝25歳：在学のまま、千葉県立佐倉中学校の代用教員となって赴任。

水平社結成・1922＝26歳：長野県立飯田中学校に転任、授業で天皇制批判などを行う。

関東大震災・1923＝27歳：卒業。弁護士の資格をとった後、正規の教員となるも<虎ノ門事件>後の思想統制に便乗した同僚教員と、

相打ちする形で立飯田中学校を辞し、帰京、中学校時代の師・北吟吉を頼り、法律事務所を送り込まれるも、失敗をして失業、蔵書売り払って資金も尽きた頃、北らの復刊した{日本新聞}に、津久井龍雄らとともに、記者として入社したが、取材問題で辞任、母校府立三中で欠員が生じたのに乗って、英語教師となった。生活が安定、再び絵を始め、肖像画が認められ、文才も見出され{中学世界}に連載執筆するうち、

治安維持法・1925＝29歳：多忙になり、退職。以後、受験生のための私塾を開きながら、貧乏・家庭不和・病気などと闘ううち、

金融恐慌・・・1927＝31歳：*北の雑誌{祖国}に寄稿したのが縁で、弁護士を引受け、初めて法廷に立つことになり、これが知られて、{祖国}に法律相談に訪れる人が多くなり、次第に弁護士が専業となって行く。

海軍軍縮条約1930＝34歳：「上級学校選定より突破まで」を刊行し、その中で社会批評を試みる。

満州事変・・・1931＝35歳：

五一五事件・1932＝36歳：

帝人疑獄事件1934＝38歳：「志望選定秘訣50箇条」「受験必勝秘訣50箇条」の二冊に改編して刊行した。

日中戦争始・1937＝41歳：*個人雑誌{近きより}を創刊し、キリスト教的ヒューマンイズムを基礎に、時代の狂信を批判した。

日米開戦・・・1941＝45歳：

・・・1942＝46歳：「人生断章」を刊行。

年金+総武装 1944＝48歳：*警官による殺人事件<首なし事件>で警察当局を告発、{近きより}の廃刊を強要されるも屈せず、誌上で東条首相を弾劾、<首なし事件>を大々的に報道、以後、権力の悪へ捨身の闘いを挑むようになる。

敗戦・・・1945＝49歳：佐倉に疎開。敗戦後は天皇制廃止を訴える。

新憲法公布・1946＝50歳：不敬罪を問われたプラカード事件の弁護開始、天皇制を批判。司法法制審議会の幹事として改悪反対。

新憲法施行・1947＝51歳：プラカード事件で東京高裁が不敬罪判決。

三大事件・1949＝53歳：{近きより}終刊。三鷹事件の弁護開始、「日本人の良心」を刊行。

朝鮮戦争始・1950＝54歳：三鷹事件の共産党弁護人と意見が合わずに弁護団を脱退したが、東京地裁が主張どおり被告に無罪判決。

独立回復・・・1951＝55歳：八海事件の弁護開始、以後“人道主義”をみずからの立場として、共産党とは一線を画した。

メーデー事件・1952＝56歳：チャタレイ事件、菅生事件、白鳥事件の弁護開始、

TV放送始・・・1953＝57歳：「弁護士さん」を刊行、

自衛隊発足・1954＝58歳：記事により告訴された。

55年体制始・1955＝59歳：<首なし事件>の警官有罪確定に導いた。最高裁、三鷹事件の上告棄却判決。八海事件を批判した「裁判官」を刊行、ベストセラーとなった。

国連加盟・・・1956＝60歳：「裁判官」への反駁がある。「真夜中の来訪者」「検察官」「わが法廷闘争」刊行、

なべ底不況・1957＝61歳：最高裁がチャタレイ事件で猥褻と判決、八海事件有罪判決を破棄。

インスタントラーメン・1958＝62歳：3年前に起こった__丸正事件の上告審の弁護開始、

美智子妃・・・1959＝63歳：

安保闘争・・・1960＝64歳：最高裁が菅生事件で上告を棄却。「ある殺人事件」を刊行して三里塚事件被告の冤罪を訴え、「告発・犯人は別にいる」を刊行して、丸正事件の被告を弁護するために“真犯人”を名指ししたため、

タイタイ病始・1961＝65歳：「弁護士案内」を刊行。__名誉毀損で告訴され、

全国総合計画1962＝66歳：「事件・信念・自伝」を刊行。__最高裁が八海事件の再上告を入れて、無罪判決を破棄。<丸正事件>を扱ったTBS「真犯人は誰か」が最高裁・検察庁・弁護士会の共同戦線で放映中止に追い込まれる。

TV宇宙中継始1963＝67歳：最高裁が白鳥事件上告審で上告棄却。

東京リビック 1964＝68歳：「弁護士・私を変えた首なし事件」を刊行、「近きより」の主要論文を復刻刊行、

大学紛争始・1965＝69歳：名指し事件は名誉毀損で有罪となった。

震ヶ関ビル・1968＝72歳：「首なし事件」を劇にした映画「首」が封切り。最高裁が八海事件3次上告審で無罪判決。

全共闘ビーク・1969＝73歳：「八海事件・有罪と無罪の十八年」を刊行、

大阪万博・・・1970＝74歳：「エン罪の内幕・丸正事件ほか」を刊行、

ドルショック・・・1971＝75歳：「裁判と悪魔」を刊行、

石油ショック1973＝77歳：

角柴金脈辞任1974＝78歳：「夢日記」を刊行、

クアランゴール事件1975＝79歳：病のため__没した。

シリーズ「人間の記録」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、